

2024年5月17日

各 位

(株)ニトリホールディングス

「(株)ニトリホールディングス」所有の「對龍山莊」が 国の重要文化財（建造物）に推挙

(株)ニトリホールディングス（本社：札幌市北区 代表取締役会長：似鳥 昭雄）が所有する對龍山莊が、令和6年5月17日に開催された文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、重要文化財に推挙されました。今後、官報告示を経て、重要文化財となる予定です。既に庭園は国の名勝に指定されており、名勝と重要文化財の双方に指定される施設となります。

對龍山莊は、明治38年に現在の全景観が完成しました。西に建物を配し、東に庭園を設けており、建物は北から對龍台、聚遠亭、居室群と連続した構成になっています。



じゅおんてい
聚遠亭：写真提供 京都市文化財保護課

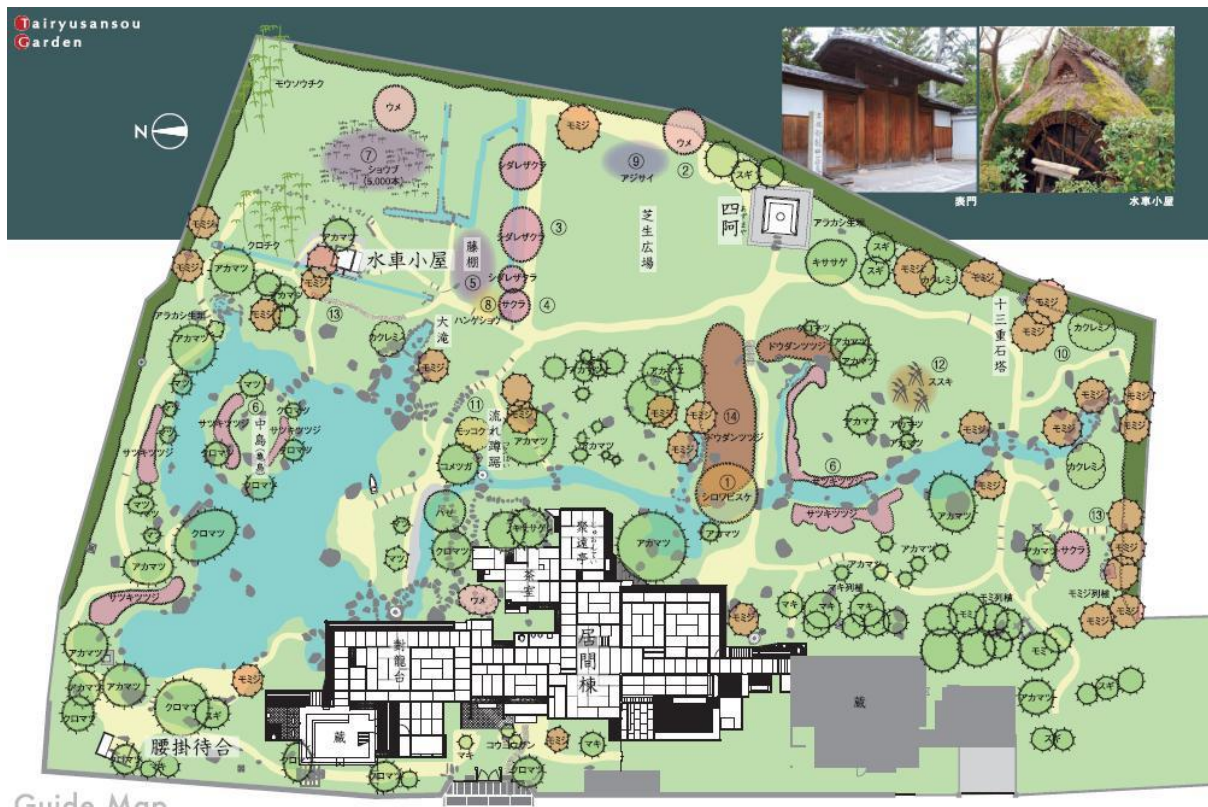


たいりゅうだい
對龍台

文化庁からの指定推挙理由は、以下のとおりです。

多彩な座敷や茶室と庭園との調和に優れた上質の近代和風建築。

南禅門の一角に広大な敷地を構える別荘建築。建築と作庭に優れた技術者、伊集院兼常の旧居、聚遠亭と茶室に、東京の大工棟梁 島田藤吉が對龍台と居間棟などを増築・改修して明治38年頃完成した。小川のほとりに深い庇を差し出す聚遠亭は、床廻りに古材を用いた数寄屋で、多様な材料を駆使した茶室は寂びた風情。大池脇の懸崖から迫り出す對龍台は上段を備え、居間棟と共に良質のツガ材が用いられている。複雑な屋根に庇等を付した変化に富む外観で、巧妙な建物配置により国の名勝に指定（1988年）されている庭園との調和と一体感に極めて優れている。卓越した手腕でまとめあげられた趣の異なる座敷や茶室が重層的な空間を形成。上質の近代和風建築として貴重である。



Guide Map

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】
 株式会社ニトリホールディングス広報部 前坂
 電話：03-6741-1213
 E-Mail：koho@nitro.jp